

平成26年度
アドミッション・オフィス入試
(AO入試)

学 生 募 集 要 項

< 英語資格 ・ 簿記資格 >

経 済 学 部

- 出願期間 平成25年8月19日（月）～8月23日（金）
- 試験期日（第2次選考） 平成25年9月26日（木）
- 合格者発表 平成25年10月15日（火）

平成25年6月



変化する、そして進化する。

大分大学

OITA UNIVERSITY

目 次

大分大学アドミッション・ポリシー	2
経済学部アドミッション・ポリシー	3
1. 募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 選抜方法等	6
4. 出願手続	7
5. 事前の説明会・相談会	8
6. 障がいのある者等の事前相談	8
7. 震災により被災した者，または震災や福島原子力発電所事故により 転学等をした者の事前相談	8
8. 検査場	9
9. 不正行為の取扱い	10
10. 合格者発表	10
11. 入学手続	11
12. 一般入試及び推薦入試への出願	11
13. 情報提供	11
14. 高大接続学習課題	12
15. その他	12
16. 「入学志願書」記入上の注意	14

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

経済学部アドミッション・ポリシー

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学者は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

〈地域システム学科〉

地域システム学科は、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

・一般入試（前期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

・一般入試（後期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・ 社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・ 私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・ 第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

経済学部教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力

地理歴史、公民：各科目の基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探求心

数学：各科目の内容を理解することに加え、論理的な思考力と応用力

（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）

理科：各科目の基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心

1. 募集人員

学部	学 科	入学定員	募集人員
経済学部	経 済 学 科	130人	英語資格 5人 簿記資格 10人 計15人
	経営システム学科	130人	
	地域システム学科	45人	
	計	305人	

【注】 所属学科は入学後に決定します。

2. 出願資格

次の(1)に該当する者で、かつ、(2)の要件を満たし、入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者。

(1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます）で、調査書の履修科目全体の評定平均値が3.5以上の者

(2) 次のいずれかの資格を有する者

英語資格：実用英語技能検定（英検）2級以上

TOEICスコア480点以上

GTEC for STUDENTSスコア580点以上

簿記資格：日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）2級以上

3. 選抜方法等

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選抜します。選抜方法は2段階選抜とします。

(1) 第1次選考

自己推薦書及び調査書により選抜します。

自己推薦書及び調査書では、高校での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む）、取得資格に関わる活動状況や今後の目標、本学入学後の勉学意欲等についてみます。

※選考結果については、通知書を本人宛に平成25年9月13日（金）に発送します。その際、合格者には受験票を同封します。

※第1次選考の合格者数は、英語資格・簿記資格とも募集人員の3倍程度とします。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者を対象に、小論文及び個人面接により選抜します。

試験日：平成25年9月26日（木）

検 査 項 目	検 査 時 間	集 合 時 間 及 び 集 合 場 所
小 論 文	10：00～12：00	午前9時30分に経済学部棟玄関前に集合
個 人 面 接	13：00～17：00	

小論文では、社会科学の素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

※英語資格の個人面接では、英語での質疑応答の時間があります。

※簿記資格の個人面接では、簿記（日商簿記2級相当の内容）に関する質疑応答の時間があります。

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

試験の配点は下記のとおりです。

小 論 文	個 人 面 接
50点	50点

4. 出願手続

(1) 出願期間

平成25年8月19日（月）から平成25年8月23日（金）まで

受付時間は、各日とも9時から17時までです。

なお、郵送の場合は、8月23日（金）17時必着です。

(2) 出願方法

出願にあたっては、本要項に添付されている封筒を用い、郵送する場合は書留速達としてください。

(3) 出願書類等

書 類 名	内 容 等
入 学 志 願 書 票	本学部所定の用紙に必要事項を記入し、所定の箇所に写真（縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで本人であると確認できるもの）を貼ってください。
調 査 書	文部科学省所定の様式で、出身学校長が作成し厳封したもの（平成26年3月卒業見込者については3年1（前）学期末時点で作成したもの）。
自 己 推 薦 書	本学所定の用紙に志願者が自筆で作成したもの。
出 願 資 格 証 明 書	出願資格を証明できる書類のコピーを添付してください。
合格通知用住所シール	本学所定の用紙に記入し、提出してください。
受 験 票 返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、350円分の切手を貼ってください。
入 学 検 定 料 振 替 払 込 受 付 証 明 書 等 (17,000円)	<p>①②のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>①金融機関（郵便局を含む）での振込 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口で振込手続きを行ってください（ATM不可）。 振込後は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を受験票下の貼付欄にはがれないよう糊付けしてください。</p> <p>②コンビニエンスストアでの振込 下記URLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアで振込手続きを行ってください。 振込後は、「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票下の貼付欄にはがれないよう糊付けしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの申し込みURL (http://www.oita-u.ac.jp/) <input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="入試情報"/> → <input type="button" value="入学検定料のコンビニ収納"/> から申し込みしてください。 ・携帯電話からの申し込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 <p>※手数料は本人負担です。 ※納入した検定料は返還できません。</p> <p>ただし、第1段階選抜の不合格者には、入学検定料の額のうち、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」（平成17年3月31日文部科学省令第20号）第4条に記載された標準額に基づき本学が定める返還額について本学の定める方法により返還します。また、出願受付後に、出願無資格者であることが判明した者には、上記省令に記載された第2段階選抜標準額に準じ本学の定める金額を本学の定める方法により返還します。</p>

5. 事前の説明会・相談会

AO入試に関する事前の説明会・相談会を次のとおり開催します。

開催日時 平成25年7月20日（土）14時～15時

場 所 本学経済学部203号教室

詳細は本学経済学部ホームページ（<http://www.ec.oita-u.ac.jp/>）で確認してください。

6. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成25年7月26日（金）17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出し、必要な場合は、本学において、志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。なお、申請書は申し出のあった方に郵送等でお渡しします。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL097-554-7471

7. 震災により被災した者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談

東日本大震災により被災した入学志願者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者、及び修学上特別な配慮が必要な者は、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成25年7月26日（金）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

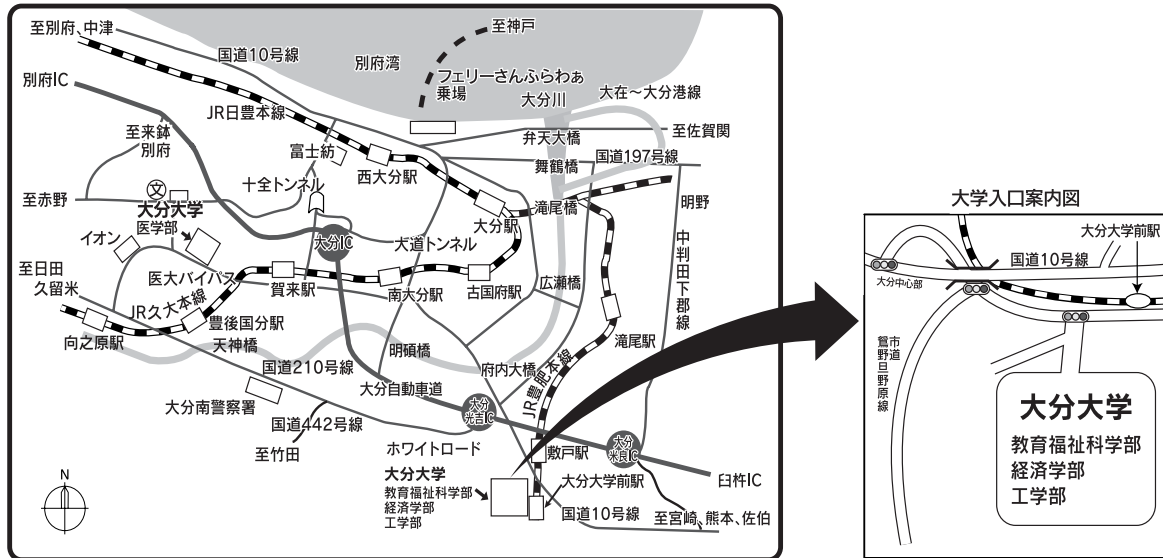
大分大学学生支援部入試課 TEL097-554-7471

また、東日本大震災に関する入試情報につきましては、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に詳細を掲載しています。

8. 検査場

- ・検査当日、自動車等で来学する場合は係員の指示に従ってください。

大分大学旦野原キャンパス位置図



交通アクセス

(教育福祉科学部，経済学部，工学部：大分市大学旦野原700番地)

〈JR利用〉

JR豊本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分），徒歩約10分

〈バス利用〉

大分バス 大分バス本社前〔トキハデパート前〕1番のりばから

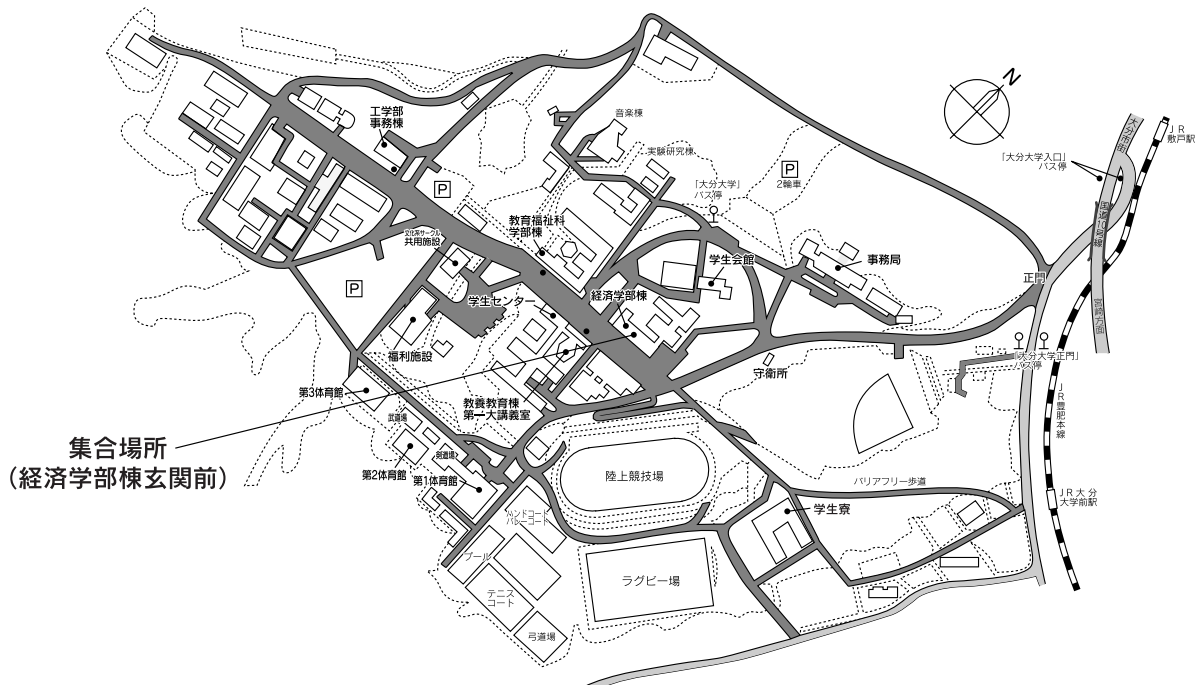
- 「大南団地・高江ニュータウン」行きを利用

「大分大学」又は「大分大学正門」下車（約40分）

- 「戸次，白杵，竹田，佐伯」行きを利用

「大分大学入口」下車（約40分），徒歩約10分

旦野原キャンパス案内図



9. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると**不正行為となります**。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、**それ以後の受験はできなくなります**。また、受験した**すべての教科・科目の成績を無効とします**。
- ア) 入学志願書、受験票又は解答用紙へ**故意に虚偽の記入**（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - イ) **カンニング**（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - ウ) 他の受験者に**答えを教えたりカンニングの手助け**をすること。
 - エ) 試験時間中に、**問題冊子を試験室から持ち出す**こと。
 - オ) **解答用紙を試験室から持ち出す**こと。
 - カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、**問題冊子を開いたり解答を始める**こと。
 - キ) 試験時間中に、**携帯電話や電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類**を使用すること。
 - ク) 試験時間中に、**定規、コンパス、電卓等の補助具**を使用すること。
 - ケ) 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、**鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続ける**こと。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると**不正行為となることがあります**。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- ア) 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
 - エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

10. 合格者発表

合格者は、次のとおり大分大学教養教育棟前の掲示板上に掲示するとともに、本人宛に「合格通知」を送付します。また、「13. 情報提供」欄の「大分大学ホームページへの合格者受験番号の掲載について」も利用できます。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

平成25年10月15日（火）	10時
----------------	-----

11. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を同封します。

(1) 入学手続期日

平成25年10月31日（木）	受付時間 9時～17時
----------------	-------------

アドミッション・オフィス入試合格者は出願資格にて「入学することを確約できる者」となっています。

ただし、特別の事情により本学に入学できなくなった場合は、すみやかに「アドミッション・オフィス入学辞退願」（様式任意）を大分大学長宛に提出してください。10月31日（木）までに許可をされた場合は入学を辞退することができます。

10月31日（木）17時までに入学手続を完了しないときには、本学のアドミッション・オフィス入試合格者としての権利が喪失します。

入学辞退を許可された場合を除き、他の国公立大学（〔注〕独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）・学部の入学許可は得られません。

〔注〕公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyusi>）参照

(2) 入学料及び授業料

① 入学料 282,000円

② 授業料 535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）

（授業料については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて1年分の納付もできます。）

注1 入学料及び授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは、入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については、学生・キャリア支援課奨学支援グループ（TEL097-554-7386）へお問い合わせください。

注2 入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注3 既納の入学料は返還できません。

12. 一般入試及び推薦入試への出願

アドミッション・オフィス入試志願者が不合格となった場合は、一般入試及び推薦入試に出願することができます。

13. 情報提供

(1) 大分大学ホームページへの合格者受験番号の掲載について

下記の期間、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）からアクセスできます。

平成25年10月15日（火）～10月31日（木）

(2) 本学の情報は同じホームページでご覧になれます。

(3) アドミッション・オフィス入試個人成績の開示について

本学においては、大分大学アドミッション・オフィス入試個人成績を受験者本人に限って開示します。

開示を希望される方は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：平成26年5月7日（水）～6月30日（月）

※土曜、日曜は除きます

申込者：受験者本人に限ります（代理人は不可）。

申込方法：下記の書類等を持参又は郵送で本学入試課に提出してください。

①入学試験個人成績開示申請書※

②アドミッション・オフィス入試の受験票のコピー（第1次選考不合格者は不要）

③写真付きの身分証明書のコピー

④返信用封筒（長形3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、380円分の切手（簡易書留料金分）を貼ってください。）

※入学試験個人成績開示申請書は、次のいずれかの方法により取り寄せてください。

・本学入試課に直接来学する

・大分大学ホームページから印刷して使用する。

・本学入試課宛に返信用封筒（長形3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ80円分の切手を貼ったもの）を送る。

なお、封筒の表に朱書きで「入学試験個人成績開示申請書請求」と明記してください。

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便により後日通知します。

開示内容：平成26年3月下旬に、上記ホームページでお知らせします。

14. 高大接続学習課題

合格者には、入学までの間、本学から学習課題を課します。

15. その他

志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した場合には、選考資料として利用します。

入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいたし おおあぎだんの ほる 大分市大字巨野原700番地
大分大学学生支援部入試課
TEL 097-554-7471
FAX 097-554-7472
URL <http://www.oita-u.ac.jp/>